

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



|      |       |     |       |                       |           |
|------|-------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | FORGE | 投球者 | 徳江 和則 | センター                  | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.470 | △RG | 0.055 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |           |

**テストボール：FORGE**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：TRIDENT ABYSS**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

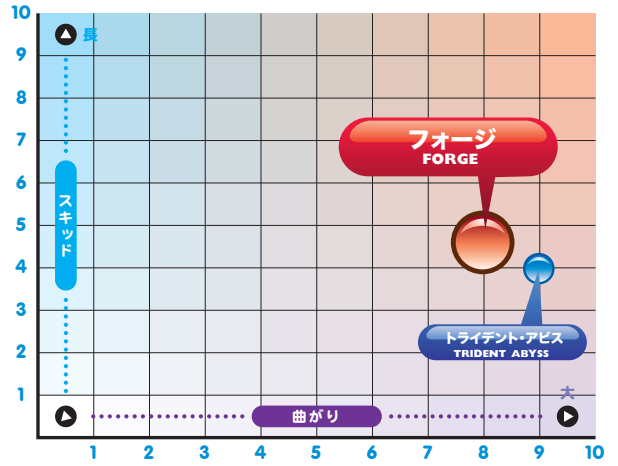
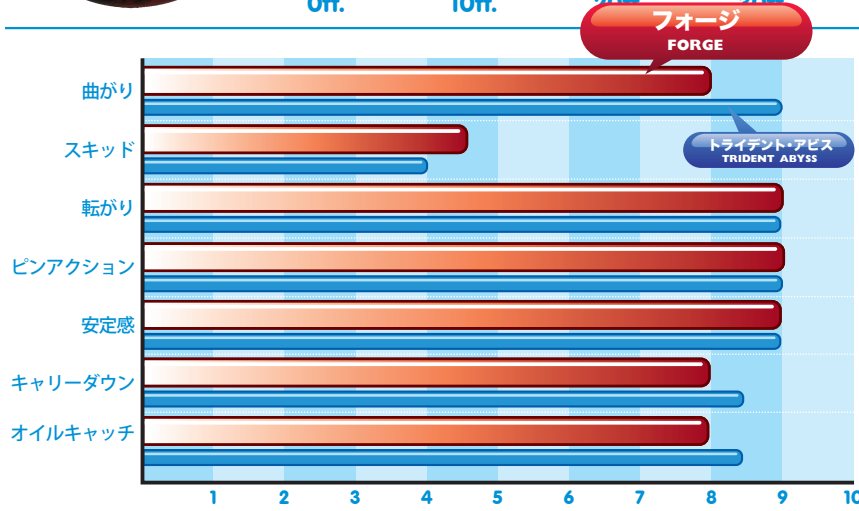
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

FORGEはMOTIVが創り出した最も強力な対称コアのボールです。新しいDetonatorウエイトブロックとCoercion HFSカバーを組み合わせることで大量のフックポテンシャルが制御されながら作られます。ミディアムヘビーの条件下でスムーズな動きを実現するように設定され、コントロールと卓越した持続性が生み出されているのが印象的で、一般的なボウラーは大きなフックポテンシャルを手に入れることができ、競技ボウラーはFORGEの高いコントロール性を見ることができるでしょう。

FORGEはTRIDENT ABYSSの下に収まるように開発されたのだと思います。ABYSSが出てきたとき、MOTIVラインナップの最も強いABYSSと他のギャップを埋めるためにREVOLT HAVOCと同じCoercion HFSを使い、VILLAIN等との差を埋めるのであろう性能がテストングすると分ります。

FORGEは低いRGと高めの△RGで意図も簡単に回転と大量のフレアを作り出します。投球してみると非常に良く転がるのが印象的でその転がりがスムーズに曲がりへと伝達されているのがボールの動きを追いかけて観察すると読み取れます。

私にとってはレーン中盤から曲がりはじめ、そのままを維持しながら曲がり続けるコンティニューアスな性能で、派手さはないもののオイルに対してカバーの信頼度が高く、安定した曲がりを得られるのは高評価で、安定したポケットヒットからピンキャリアまでを想定してライン取りを考えた場合、ベンチマーク的なボールの1ランク上のボールの位置付けで持っておきたいボールだと感じました。このFORGEができたことで、オイルを読み取るベンチマークボールがT10でオイルを感じすぎた場合FORGEと簡単にボールチェンジが可能となり、REVOLT HAVOCが今やない現状を考えるとその位置にFORGEは最適で、領域、リアクション性能、パフォーマンスを考えた場合、待っていた性能といえるでしょう。

### 特記事項

ちょうどこの領域のこのようなパフォーマンスのボールが足りないところにこのFORGEが追加されました。REVOLT HAVOCのほんの少し下ぐらいのイメージで効果的に使うことができるでしょう。